

# 千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

## がんセンターニュース



第25号  
平成25年10月4日発行  
発行:千葉県がんセンター

### 理念

心と体にやさしく、希望の持てるがん医療

私たちは、一人でも多くの千葉県民に、  
質の高いがん治療を提供します。

## マララさんの勇気と私たち

千葉県がんセンター 病院長 中川原 章



7月12日、衝撃的なニュースが世界を駆け巡った。国連本部で「教育こそがすべてを解決する」と力強く訴えたパキスタンの女性、その日、彼女は16歳の誕生日を迎え、国連は7月12日を「マララの日」とした。

マララ・ユスフザイさんは、女子が教育を受ける権利を主張して武装勢力タリバンから銃撃を受けたが、国際チームの必至の治療で回復できた。パキスタンの地方では、未だに教育を受けられない子ども達が多く、とくに女子は16～17歳で結婚して家庭に入ると言う。

演説の中で、「私は誰も恨んでいない。タリバンの子ども達にも教育を受けさせたい。本とペンを手にとろう、それが一番強い武器。」と締めくくった。死の淵から生還しても、敵を許し、信念を変えない、堂々とした16歳の演説であった。

不肖私こと、1980年代半ばに3年続けて夏休みを挟む3ヶ月間、パキスタンの首都イスラマバードの小児病院で、小児外科診療を行なったことがある。JICAの国際協力隊の一員としての派遣であった。その時も、手術中に待ち合い室に爆弾が仕掛けられ、幸い不発に終わったが、もしかしたらその時に生命を落としていたかも知れなかった。また、2年目の夏、帰国して成田のホテルに着いてテレビを点けたら、私たちが出発した直後に、イスラマバード空港から離陸した大統領専用機が爆発して、当時のハク大統領が死亡したとのニュースが入り、

驚いたことがあった。当時はまだパキスタンでタリバンが活動していなかったにも拘らずそのような状況であったので、現在はもっと事態は悪くなっているに違いない。

そのような社会情勢で最も悲しい目に遭うのは、いつも子どもである。その子どもが立ち上がり、迫害を受けながらも堂々と主張している姿は、世界で最も安全で平和な国である日本に住む我々に、何を訴えかけているのか。

イスラマバード小児病院で治療された小児がんの子は、輸血するお金を家族が出せず、父親が涙を流す前で亡くなった。緊急で日本政府へお願いした抗がん剤も、着いたのは亡くなった2日後だった。病室は常に満室、病院の外來と庭は、3日もかけて辿り着いた病気の子ども達と親が敷石を詰めたように座り込んで順番を待っていた。青天井の庭で、局所麻酔だけで、痛みで泣き叫ぶ骨髄炎の子どもの骨髄洗浄を行なったことも何度かあった。

マララさんの教育の訴えは切実である。しかし、発展途上国の病める子ども達の訴えは、もっと切実なものである。そのような思いから、私たちは今、アジアの小児がんの子ども達のための治療研究グループ立ち上げを目指している。恵まれた日本が先頭に立ってやるべきとの信念を持って。日本に生まれていれば80%近くは治る小児がん。しかし、途上国に生まれた小児がんの子ども達の治癒率はわずか10～20%と言われる。同じ地球に生まれて、この不平等は決して許されるものではない。

マララさんの勇気には遥かに及ばないが、私達も、世界の子ども達のために何かをしなければならない。

# 臨床の現場から

## 形成外科って何をするところ？

形成外科 秋田 新介

**2** 013年4月より千葉県がんセンターに形成外科が開設されました。当科では、当院で悪性腫瘍の手術をされる方の治療はもちろんですが、他院で過去に手術をされた方の再建手術や術後のリンパ浮腫、顔面や体の変形など、悪性治療に関わる整容面でのあらゆる問題に対応しています。リンパ浮腫については、治療できる医療機関が少ないこともあって、原発性リンパ浮腫という、悪性腫瘍によらないリンパ浮腫についても当科で治療を行っています。

形成外科での治療内容はがん自体の治療ではないため、患者さんの中には医師に相談しにくいと考えていたり、保険で治療をできることを知らなかったり、中には見た目のことを治療してもらうなんて申し訳ないとすら感じられる方がいらっしゃるようです。しかし、せっかくがんを治療して元気になるのですから、堂々と外に出て、社会活動ができるようになることを目標にさせていただくために形成外科は存在します。形成外科医の願いは患者さんに、肉体的にも、精神的にも、「元気に」生きていていただくことです。乳房再建をして温泉に行きたい、リンパ浮腫を改善して半そでやスカートなどのおしゃれを楽しみたい、顔面の変形を治してマスクをしないうで出かけたい、といったごく当たり前の願いを叶えることを目指して、日々研鑽をつみ、治療にあたっています。

す。この程度で治療の対象になるのだろうかと一人で思い悩んだり、あきらめたりしてしまう前にまず、形成外科を一度受診していただけたらと思います。

悪性腫瘍の治療は長くかかる治療方法もありますし、再発のリスクも患者さんごとに異なりますので、腫瘍自体の治療を行っている科の先生との連携が非常に大切になります。お手紙やメールでのやり取りを通して、当院以外の施設からご紹介いただく患者さんについても、悪性腫瘍の治療状況や今後の見通しなどをきちんと把握して治療にあたるよう心掛けています。



千葉県がんセンター 形成外科

乳房再建 / リンパ浮腫治療  
のお知らせ

千葉県がんセンターの基本理念である「心と体にやさしく、希望の持てるがん医療」をめざして、乳房再建や、リンパ浮腫の外科治療を行っています。受診を希望される方は電話でご予約ください。

千葉県がんセンター 形成外科

TEL 043-264-5431

外来受付時間 毎週木曜 8:30~16:00

## 「心と体総合支援センター」シンポジウムのお知らせ

心と体総合支援センターで開催するシンポジウムは、今年度で3回目になります。

本年のテーマは「就業支援」です。日本人の2人に1人はがんになる時代だといわれています。一方で医療の進歩に伴い「がん」は治らない病ではなくなりましたが、「がん」の治療のために職を失い経済面での不安を抱えたり、就業の制限などいろいろな問題が出てきています。「がん」と付き合いながら生活を築き、就業をしていくためにどのようにすればいいのか、がんを経験され就業についてご苦労された方や雇用者の方、就業を支援する立場の方から講演をしていただく予定です。ぜひ、患者さんやご家族、医療者の方の沢山の皆さんの参加をお持ちしています。

**日時** 平成26年1月18日(土) 13:00~17:00

**場所** 千葉県がんセンター 別棟大会議室

**定員** 150名(入場無料、申込不要)

## 地域医療連携室だより

### 人工乳房を用いた乳房再建を当センターでは保険診療で行っています

**千** 葉県がんセンターは、人工乳房を用いた乳房再建手術を、9月1日から保険診療で行っています。乳がんの患者さんにとって、治療の選択肢が増え、医療費の負担も軽減されます。

乳がんの全摘除術後の乳房再建術に使うティッシュエキスパンダーおよびシリコンインプラント使用に、平成25年7月1日より公的医療保険の適用が認められました。保険適用されたのは、アラガン・ジャパン社の人工乳房と、再建のために皮膚を伸ばす組織拡張器の2製品です。

今回、保険診療の認可にあたって、患者さんが安心して安全に医療を受けることのできる環境を提供できる施設のみが、登録した上で、手術を行えることになってい

ます。そのためには、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会による施設認定が必要ですが、当センターは、本年4月に形成外科を新設し、施設認定の条件も満たしたため、乳房再建術を実施できる体制が整いました。

きれいな乳房を取り戻したいという、乳がん患者さんの願いにお応えするため、当センターは手術の選択肢を広げ、安心かつ安全ながん治療を行っていきたいと考えております。再建を希望する患者さんがいらっしゃいましたら、是非、当センターにご紹介ください。また、患者さんからの相談にも対応させていただきます。

なお、ご紹介にあたり、診療情報提供書の宛先診療科については表をご参照ください。また、問い合わせは地域医療連携室までお願いします。

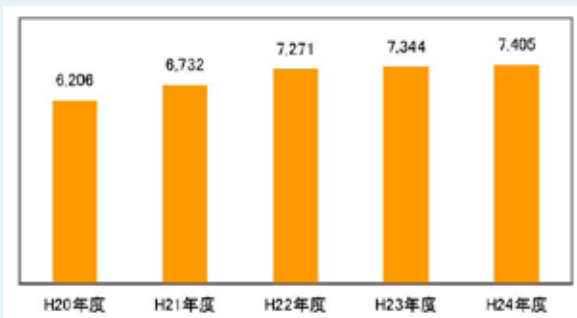
紹介目的	担当診療科
乳がんと診断され、乳がんの治療と共に乳房再建術を希望する場合	乳腺外科
乳がんの手術後、乳房再建術のみをがんセンターで希望する場合	形成外科

## 診療実績

### 患者数の動向

診療情報管理室

1. 新患数 (人)



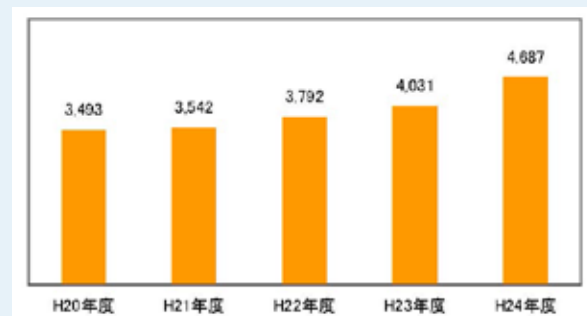
2. 外来患者延数 (人)



3. 入院患者延数 (人)



4. 手術件数 (人)



### 新

患数は過去5年間で1,199人増えています。それに伴い、外来患者延数、手術件数も増加しています。また、平成24年度の入院患者延数は減っていますが、これは平均在院日数の短縮によるものです。昨年度の平均在院日数は12.4日でした。

# 初診担当医表

2013年10月1日現在

## 【予約受付時間】

月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始を除く)  
9時～17時

診療科	月	火	水	木	金
呼吸器外科	飯笹 俊彦		飯笹 俊彦		飯笹 俊彦
呼吸器内科	芦沼 宏典	新行内 雅斗 板倉 明司 芦沼 宏典	吉田 泰司	新行内 雅斗 板倉 明司 吉田 泰司	芦沼 宏典
消化器外科	外岡 亨 趙 明浩 池田 篤	山本 宏 早田 浩明 鍋谷 圭宏	滝口 伸浩 貝沼 修 池田 篤 柳橋 浩男	永田 松夫 滝口 伸浩 趙 明浩 鍋谷 圭宏	山本 宏 貝沼 修 早田 浩明 武藤 頼彦
消化器内科	山口 武人 傳田 忠道 廣中 秀一 鈴木 拓人	傳田 忠道 原 太郎 須藤 研太郎	山口 武人 傳田 忠道 中村 和貴 廣中 秀一	傳田 忠道 原 太郎 廣中 秀一	中村 和貴 須藤 研太郎 相馬 寧
婦人科	(担当医)	田中 尚武	(担当医)	田中 尚武	(担当医)
泌尿器科	小丸 淳 佐藤 陽介	植田 健	大關 孝之 高木 公暁	小林 将行 佐藤 陽介	深沢 賢 滑川 剛史
脳外科	井内 俊彦	(担当医)	井内 俊彦 堺田 司	(担当医)	堺田 司
頭頸科	佐々木 慶太 河田 佐和子	佐々木 慶太 河田 佐和子		佐々木 慶太 河田 佐和子	
整形外科	石井 猛 米本 司	石井 猛 萩原 洋子		石井 猛	米本 司 鴨田 博人
腫瘍血液内科	熊谷 匡也 伊勢 美樹子	酒井 力 辻村 秀樹 菅原 武明	熊谷 匡也 酒井 力 菅原 武明	熊谷 匡也 伊勢 美樹子	熊谷 匡也 酒井 力 辻村 秀樹
乳腺外科	山本 尚人	吉井 淳 岩瀬 俊明	山本 尚人 中村 力也	吉井 淳	中村 力也
形成外科				秋田 新介	
緩和医療科	渡邊 敏	渡邊 敏		渡邊 敏	渡邊 敏
精神腫瘍科	秋月 伸哉	秋月 伸哉		秋月 伸哉	秋月 伸哉
核医学診療部		戸川 貴史	久山 順平	久山 順平	戸川 貴史

## 【診療予約のご案内】

予約電話 043-264-5431 (代表番号) 地域医療連携室 予約担当

- \*当センターは予約制となっております。受診される場合は、電話で予約をおとり下さい。
- \*初めて受診なさる場合は、かかりつけ医など医療機関からの紹介状をお持ち下さい。
- \*がん検診等の結果、精密検査が必要とされた場合は、検診関連書類の他に紹介状をお持ち下さい。

# 研究の現場から

## 次世代シーケンサーの導入

主席研究員 影山 肇

**が**んは遺伝子のキズがもとで起こる病気です。遺伝子の情報は、DNAの鎖を構成する4種類の塩基の並び方によって表されています。がんでは変異している多くの遺伝子で多数の場所を同時に調べることで、そのがんが起こった変異から、特徴を見つけることができるかも知れません。

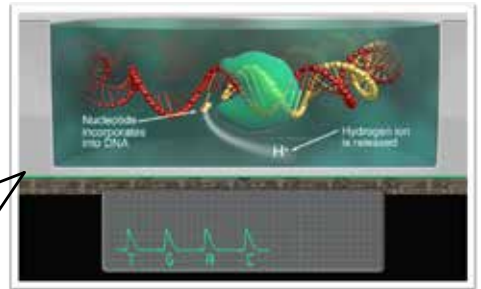
核酸の塩基の配列を調べる事をシーケンシングと言います。私はガラス板2枚の間に固めた薄いポリアクリルアミドゲルで電気泳動を行い、ゲル内の放射性標識したシグナルをX線フィルムに感光させ、梯子のように表される配列を端から自分の目で読んだ時代も経験していますが、21世紀になると標識は放射性物質ではなく、A,C,G,Tの4種類を別の蛍光色でできるようになり、ゲルは板からキャピラリーという直径0.1mmほどの細い管1本で塩基配列を解析できるようになりました。

次世代シーケンサーというのは、さらに超並列的に、一度に圧倒的に大量の塩基配列データを得られるものです。昨年度末、当センターに導入されたイオンレントのシステム（ライフテクノロジー社）は、次世代シーケンサーの中でも第3世代と呼ばれ、検出に蛍光を使わず、DNAの鎖がひとつ繋がる毎に放出される水素イオンによるpHの変化を電気シグナルの変化として半導体チップで読み取るものです。光を使わないので、カメラ等の光学機器が必要ないため、コンパクトになりました。

半導体チップ



DNA配列を水素イオンの放出として電気的に読み取る



現在、当センターで保管されている凍結組織やパラフィン切片から抽出したDNAにおいて、409種類の癌関連遺伝子のコード領域を約16000箇所に分けて増幅し、一気に塩基配列を調べ、変異を網羅的に検出するプロジェクトを行っており、一つのがんの症例から、1塩基置換のみでも千カ所以上の変異部位が検出されています。次世代シーケンサーはパワフルな機器ですが、人間の使う「道具」でしかありません。「何をどうやって見出すのか」というアイデアが重要です。ランニングコスト、大量のデータの解析等の問題もあり、事前のDNAの品質評価が必要ですが、利用してみたい方は、お気軽にご相談下さい。



# 研究の現場から

## がん登録事業の法制化と

### がんの実態把握

がん予防センター疫学研究部 部長事務取扱 永瀬 浩喜

**厚**生労働省は、がん登録とは「がんの罹患や転帰その他の状況を登録・把握し、分析する仕組みであり、がん患者数・罹患率、がん生存率、治療効果の把握など、がん対策の基礎となるデータの把握のために必要なもの」と記載しています。がん登録等の推進に関する法律案全文（素案）が公開され、自民党の

議員立法による法制化が国会で審議されようとしています。初めてがんを治療した病院に登録を義務づけ、学会が行う臓器がん登録、病院が登録する院内がん登録と行政機関が死亡診断書などの情報から地域のがんを登録する地域がん登録が統合して精度の高い悉皆調査（集団のメンバー全員を調べる調査）を目指しています。千葉県がんセンター予防疫学部は県の委託を受け千葉県の地域がん登録を全国に先駆けて開始し、82%以上の高い精度（約7%は県外で診療を受け把握できない）で行っています。がん法制化で全国でのがん登録が開始され、より精度の高いがん登録により患者さんの正確な予後調査が行われることが期待されています。



## 「県民公開セミナー」のお知らせ

毎年恒例の県民公開セミナーですが、今年は「がん、その後を支える」というテーマで行います。国立がん研究センターの高橋都氏による「サバイバーシップ」についての講演をはじめ、がん治療後にとどのような問題が起きるのか、治療後の問題を少なくするためにどのような工夫ができるのか、治療後の生活をよりよいものにするために何が必要なのか、といったことを紹介します。

多くの方に興味を持って参加いただけるよう、皆様に関わる患者さん・ご家族にお知らせ頂ければと思います。

**日時** 平成25年10月20日（日）13：00～16：00

**場所** 京葉銀行文化プラザ6F 会議室

**定員** 300名（入場無料、申込不要）



平成25年度

## 千葉県がんセンター臨床研究総合センターシンポジウムのお知らせ

例年開催しています、臨床研究総合センター主催の「平成25年度千葉県がんセンター臨床研究総合センターシンポジウム」についてお知らせいたします。日時は本年12月7日土曜日で、午後1時からがんセンター内の会議室で開催いたします。今回は、現在建設中の別棟内の会議室での開催となる予定です。テーマとして「がん治療最前線：ゲノム創薬と免疫治療」と題し、近年飛躍的に進歩した分子標的治療やがん免疫治療の最前線に関し、センター内外の先生方にご講演いただくことになっています。プログラムの初めに、がんゲノム研究のパイオニアで最近はがんペプチドワクチンの開発でご高名な、現在米国シカゴ大学教授、中村祐輔先生に「ゲノム創薬の現状と展望」と題し、基調講演を頂く予定です。次に、当センターの中川原章病院長、および神戸大学分子生物学分野教授、片岡徹先生にインシリコ創薬に関するご講演をしていただきます。中川原病院長の講演は内部の方々はなかなか直接お聞きする機会がありませんので、非常に楽しみな機会かと思えます。最後のセッションでは臨床応用に関するご講演を、当センター消化器内科部長、傳田忠道先生、千葉大学免疫細胞医学教授、本橋 新一郎先生、および国立がん研究センター早期・探索臨床研究センター免疫療法開発分野長、中面 哲也先生のお三人からしていただく予定です。がんの診断・治療はもはやゲノム研究を抜きには成り立たない時代となっています。今回のシンポジウムはそのような意味からも、極めて意義のあるシンポジウムであると自負しております。土曜日の午後、ぜひとも多くの方々のご参加をお願いいたします。

**日時** 平成25年12月7日（土）13：00～17：00

**場所** 千葉県がんセンター 別棟大会議室

**定員** 150名（入場無料・申込不要）



**JR千葉駅から** 所要時間:約25分

千葉中央バス：菅田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地（星久喜経由）行乗車・千葉県がんセンター前下車



**JR鎌取駅から** 所要時間:約13分

千葉中央バス：千葉駅・蘇我駅行乗車・千葉県がんセンター前下車



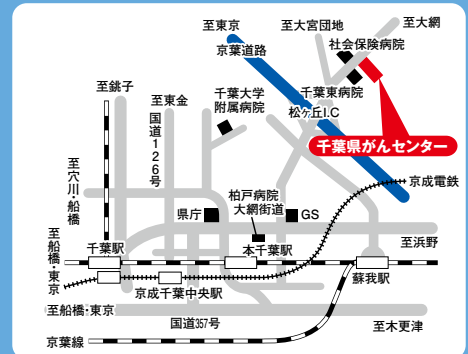
**JR蘇我駅から** 所要時間:約16分

千葉中央バス：鎌取駅行乗車・千葉県がんセンター前下車



**松ヶ丘I.Cから**

大網街道を大網へ向かって約2km右側



### 千葉県がんセンター

〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2  
TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680  
<http://www.chiba-cc.jp/>